

佐賀の豊かな農業の 未来づくりにチャレンジ

農家の所得向上と産地拡大を目指し、令和元年度から「さが園芸888運動」を展開しています。農業者が減少する中で今ある農地を利活用していくには、点在する農地を集めて大区画化し、より効率的に生産する必要があります。このため、専門チームを立ち上げ、地権者の協力を得ながら農地集約*を進めています。

さらに、担い手不足に対応するため、企業の農業参入も誘致。農業の価値を発信し、「農業を始めるなら佐賀県」と選ばれるよう取り組んでいます。

[問] 農業経営課 ☎ 0952-25-7422
✉ nougyoukei@pref.saga.lg.jp
園芸農産課 ☎ 0952-25-7114
✉ engenousan@pref.saga.lg.jp

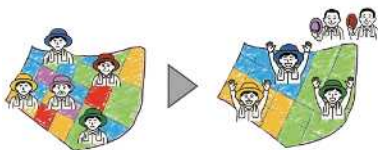
詳しくは
コチラ



さが園芸888運動
さかのりていふたふたふたふたふたふたふた

※農地集約とは？

農地が分散している状況を解消し、まとまった農地利用を図ること。



農福・産福連携で ともに支え、発展しよう

農業分野で障がいのある方が働き手として活躍する「農福連携」を進めています。さらに今年度から、産業分野での活躍を後押しする「産福連携」もスタート。産福連携コーディネーターを配置し、県内ものづくり企業から障害福祉事業所への発注拡大をサポートします。

企業は人材不足の改善や企業価値の向上に、福祉では障がいのある方の活躍の場の拡大や工賃向上につながります。互いの持ち味を生かし、ともに発展できる佐賀県を目指します。

[問] 障害福祉課 就労支援室 ☎ 0952-25-7389
✉ shougafukushi@pref.saga.lg.jp

全国お茶まつり 27年ぶりの佐賀開催！



国内最大級のお茶のイベント「全国お茶まつり」を27年ぶりに佐賀で開催します。日本一のお茶を決める全国茶品評会や、出品されたお茶の入札会を行うほか、式典や機械の展示、お茶のPRイベントなどを実施。11月21日(土)、22日(日)に佐賀県立博物館・美術館前で開催するPRイベントでは、煎茶体験や利き茶、お茶の試飲・販売、お茶スイーツの販売などで盛り上げます。

佐賀県のお茶の素晴らしさを全国に発信し、お茶を楽しむ機会を増やすことで、地域振興につなげていきます。

[問] 園芸農産課 ☎ 0952-25-7119 ✉ ochamatsuri_saga@pref.saga.lg.jp

詳しくは
コチラ



移住前の仕事体験で 佐賀暮らしの実現を後押し

佐賀への移住を考えている方が生活や仕事について相談できるよう「移住サポートデスク」を設置しています。移住の第一歩から暮らしの実現まで、切れ目のない支援が好評です。

特に仕事の面では、「どんな仕事があるのか」「就職できるのか」といった不安を軽減できるよう、移住前に仕事を経験できるイベントへの参加を募集。農業や伝統産業に携わる体験を通して佐賀での暮らしを具体的にイメージし、安心して移住できるようサポートします。

[問] 移住支援室 ☎ 0952-25-7393
✉ sagaiju@pref.saga.lg.jp

詳しくは
コチラ



環境の変化に負けない水産業をつくる

気候変動の影響により、漁業を取り巻く環境は厳しさを増しています。環境の変化に対応できる持続可能な水産業を目指し、様々な取り組みを進めています。玄海地区では、ICT機器などを活用した効率的な操業や、新たな漁業との兼業への挑戦を支援しています。

有明海地区では、ノリの色落ちの原因となる赤潮対策として、プランクトンの発生予測やその情報の配信、二枚貝を増やす取り組みを行っています。生産者の努力とこれらの取り組みが実を結び、ノリ養殖は販売枚数、販売額ともに4年ぶりに日本一になりました。

[問] 水産課 ☎ 0952-25-7144 ✉ suisan@pref.saga.lg.jp



有明海地区

